

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	文観 - 37	漁港施設管理事業	☐ 法定受託事務
所管課	文化観光部 農水課		評価者 農水課長 山戸 貴喜
一般	会計	款 30 項 05 目 15	
総合計画上の位置付け	分野名	産業振興	施策の方針名 農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	漁業従事者等	意図	腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。
効果	円滑な漁業活動の推進を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・ 漁港施設管理 ・ 漁港区域内海岸管理 ・ 腰越漁港指定管理選定	・ 漁港施設管理 ・ 漁港区域内海岸管理	・ 漁港施設管理 ・ 漁港区域内海岸管理
予算額（千円）	7,570	15,793	
国県支出金			
地方債			
その他	6,982	5,005	
一般財源	588	10,788	0
当初人員配置数	1.5	1.0	1.0
人件費（千円）	12,806	8,826	0
事業実績	・ 漁港施設管理 ・ 漁港区域内海岸管理 ・ 腰越漁港指定管理選定		
決算額（千円）	5,428		
国県支出金			
地方債			
その他	4,059		
一般財源	1,369	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	漁港施設定期点検実施率	%	100	100	100		
活1	実績につながる活動	漁港施設等維持修繕（1,313）、漁具倉庫アスベスト調査（259）、海浜整地（3,564）、廃棄物処理（196）				5,332		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・腰越漁港施設は、漁業を行っていく上で非常に重要なものであり、必要な点検を遺漏なく実施することにより、施設の適切な管理が行われている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	漁港施設管理事業は、腰越漁港の施設管理を実施する事業であり、活動結果から成果につながるような指標を設定することが、適切ではないことから、成果指標の設定を行っていない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	腰越漁港を拠点とした漁業活動による水産物の供給に対しては、市民からの需要が高いことから、今後も安定して継続的に供給するため、引き続き、漁港施設を良好な状態を維持管理していく必要がある。腰越漁港の指定管理者である腰越漁業協同組合と連携しながら業務を行っており、市民利用も踏まえた漁港の有効利用などについても組合側のニーズ把握等に努めたい。			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		近隣市町の漁港の令和6年度漁獲量（令和7年港勢調査より） 単位：トン								
団体名		鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績		113.4	61.9	72.8	156.8	3,888	179.6	—	57.2	13,122
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方		漁港の種別が違うものの、近隣市町に比べて漁獲量は少なくないが、近年減少傾向にある。引き続き様々な支援策を検討していく必要がある。								